



スマイル(人権)週間の取り組みの様子を紹介します。

前回お知らせしましたように、スマイル週間では様々な取り組みを行ってきました。その一部(絵画・標語・感想文)を紹介します。

◎人権発表会

◇人権標語

(1年)

さっきはごめんね いっしょにあそぼ
ともだちと なかよくしたい いつまでも

(2年)

だいじょうぶ ぼくがいるから がんばろう
やさしいね 元気になるよ そのことば

(3年)

なく心 みんなでいっしょに ふきとばそう
ありがとう 君が生まれて 来てくれて

(4年)

ざっそうも 力いっぱい 生えてるよ
その笑顔 見ればみんなが いい気分

(5年)

開けよう 人の気持ちを 想うドア
楽しもう キミの命は 一つだけ

(6年)

はかりでも 命の重さは はかれない
自分から いえるふんいき つくろうよ



『人権発表会の感想』

私は今回の人権発表会で、平和は大切、いじめはいけないといういろいろなことを学びました。ポスターの5年生ののでしょうかいがある人でも、そうでない人でも命は同じというポスターがとてもなるほどなと思いました。そして、2年生はふたごのことで話していました。私はふたごではないので、話すことがいっしょになったり、ねるむきがおなじになるんだとわかりました。ほかにも詩やいろいろ

ろなことを学びました。(4年)

◎人権学習会 『岡田侑子さん(ピアニスト)のお話』の感想

病気になっていなかったらもっとすごい曲をひけていたのと思っていたけど、岡田さんの話を聞いていると病気になっても悪いことばかりではなく、いいこともたくさんあって、病気になってよかったと言っていてすごい人だと思った。左手だけでひいているのに、両手でひいていると思うぐらい上手だった。

病気なのにあきらめず、努力して「左手が動くかぎり死んでしまうまで続けたい」という言葉にとても感動した。ぼくは両手だけどあんなにすごい曲はひけなくても、努力して手というものを大切にしながらもっとすごい曲をひけるようにしたい。

これからピアノをひくときは、岡田さんのことを思い出して、どんどん上手になりたい。(5年)

右手が使えなくても、左手でできるんじゃないかと思ったのがすごい。ぼくなら、もうぜつぼうしたままピアノをやめていると思います。左手だけでもきれいな曲を弾けると知って、ぼくもあきらめちゃだめだということを岡田さんに教えてもらいました。もし、ぼくも体のどこかが動かなくなっても、あきらめずに今できることを探して見つけて、もちあじにしたいです。(5年)



右手が動かさなくてショックだと言っていたけど、後から「びょう気になってよかった」と言っていたので、それ(気持ち)だけで思いや人生までもかえてしまうと分かりました。おか田さんのように、大へんなことがあったら、落ちこまずに、そして、ひとりひとり出会った人に感しゃをして、おか田さんのように気持ちを強く持ちたいです。おか田さんは、5本のゆびでピアノをひいていました。大けがやびょう気になってもあきらめずに、すきなことややりたいことを続けて、強い気持ちを持てる人になりたいです。(3年)

自分が右手をうまくつかえないとき、それでも自分がピアノを続けたい。それで自分が今できることはなにか不自由でもできることを考えてこれを選んだ。それはすごいなと思った。(3年)

岡田さんの話を聞いてすごく印しょうに残った言葉が二つありました。一つ目は、「10-5=5で、半分になってしまうけど、ピアノのすごさは変わらない。」ということです。二つ目は、「病気になってよかった。」と言っていたことです。もしも私がピアノをやっていて岡田さんのようになると、もうピアノをあきらめるかもしれない、岡田さんはそれを谷から山へと一生けん命のぼっていたのがすごいなと思った。この学習ですぐにあきらめてはいけないということを学びました。(4年)

おか田さんが左手だけをつかうのがすごかったです。わたしも右手がつかえなかったこともあるけど、あきらめずにリハビリしたらちょっとうごかせるようになりました。ピアノのえんそうの名前はわからないけど、わたしはきれいだと思いました。ピアノがすきなのがつたわりました。またおか田さんのピアノがききたいです。(2年)

「びょうきになってよかった。」と言っていて、ぼくは、なったらいやなのに、何でだろうと思って、ゆうきのある人だと思いました。5本のゆびであんなにきれいにひけるのはおかださんだけだと思いました。ぼくがおいしゃさんだったらなおしてあげたいです。ぼくは右手がつかえなかったらくやしくてあきらめちゃうけどおかださんはあきらめずピアノをつづけているのはほんとうにすごいなと思いました。(2年)

おか田ゆうこさんのみぎてがつかえなくても、ひだりてでなにかひけるきょくがあればひきたいとおもったのがよかってすごいいいひとだとおもった。わたしだったらひだりてもうごきにくなったらどうしようとおもった。ひだりてでひくきょくをつくられてほんとうによかったとおもった。わたしもさいごまであきらめずにいたいです。（1年）

今までつらい事がいっぱいあったけど、これからも、ずっとつらい事があると思う。でも、岡田さんの演奏・話を聞いて、つらい事がこれからもあるけど「明るく生きよう」と思いました。この先、がんとか重い病気になるかもしれない。でも、病気になる日はわからない。いつ病気が来ても、死んでもいいようにけんかなしに生きていきたい。岡田さんのように「病気になれてよかった」と思えるようになりたい。人生、いつなにがおこるかは、わからない。（6年）

ぼくは岡田さんの話を聞いて、急に人生が変わることがあるんだなぁと思いました。今までふつうだったのに急に右手が動かなくなってふつうのピアノができないじょうきょうは苦しかったと思いました。でも岡田さんは、左手だけでピアノををすると思ったのがすごいと思いました。これは岡田さんがピアノを好きだから出した結果だと思いました。演奏を見ていても、右手を使う幅の分左手だけでやっていたから左右の動きがすごくありました。左手だけでも演奏はできるものだと思いました。岡田さんが「病気になって良かった。」と言っていたのが本当にすごいなぁと思いました。ぼくも岡田さんみたいに、好きなことはあきらめずに、前向きに考える人生を送りたいと思いました。ぼくは岡田さんみたいに急に病気になり目が見えなくてもサッカーを続けたいと思います。岡田さんは病気になっても負けずに自分のやりたい事をして、自分みたいな人でもピアノができるように広めようとしている姿もいいなぁと思いました。この左手だけのピアノを研究しているのも自分のためでもあるし人のためだと思いました。また左手だけのピアノが広まって岡田さんみたいな人もがんばってほしいです。この岡田さんの一つの行動でどのスポーツなどでもあきらめず、どんな人でも自分の好きなことができる世界になっていったらいいと思いました。今日でどんな病気になっても自分の好きなことだけは、死ぬまでやりたいと思いました。人によって生き方のちがいはあるけれどそれは自分が工夫しているから楽しいんだと思います。「自分の人生は自分で決める」これを岡田さんが真剣にしていたから今があるんだと思いました。今は生き方について学べて良かったです。（6年）



◎あいさつの木

朝、自分から・相手の目を見て・心をこめて「おはよう」と言うことを意識づける運動です。
1・2年生は1日2人以上、3～6年生は5人以上に挨拶できたら達成です。
クラスごとに達成した人数を書いた葉っぱを、保健室前のあいさつの木に貼っていきます。
今年は、クラス全員があいさつできたら、葉っぱに「はなまる」をつけてみました。その結果、5日間で17枚の葉っぱに「はなまる」がつけました。

- 11／8（木）1クラス達成（1－1）
- 11／9（金）2クラス達成（2－1、3－2）
- 11／12（月）3クラス達成（1－1、3－2、5－1）
- 11／13（火）5クラス達成（1－1、2－1、2－2、3－2、4－1）
- 11／14（水）6クラス達成（1－1、2－2、3－2、5－1、6－1、6－2）

葉っぱは、日に日に増えていきました。1－1、3－2は合計4日達成することができました。

